

各関係機関の長  
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除所長

平成15年度病害虫発生予察注意報第3号について  
平成15年度病害虫発生予察注意報3号を発表したので送付します。

## 平成15年度病害虫発生予察注意報第3号

平成16年1月6日  
宮崎県

病害虫名 コナジラミ類

作物名 果菜類

1. 発生地域 県内全域

2. 発生程度 やや多

3. 発生状況と発令の根拠

- 1) 12月中旬の巡回調査におけるコナジラミ類の発生は、冬春トマト(図1, 図2)では発生面積率20.0%(平年値2.0%)、葉当り成虫数0.16頭(平年値0.05頭)、冬春キュウリ(図3, 図4)では発生面積率11.1%(平年値4.9%)、葉当り成虫数0.09頭(平年値0.04頭)、冬春ピーマンでは発生面積率27.3%、葉当り成虫数は0.02頭であった。
- 2) トマト、キュウリでは平年よりやや多い発生であった。(ピーマンは平年値はないが、巡回ほ場以外で多発しているほ場が見られた)
- 3) 主な種はシルバーリーフコナジラミであった。
- 4) シルバーリーフコナジラミはトマト黄化葉巻病(TYLCV)を媒介するため、十分な注意が必要である。

4. 防除対策

- 1) 発生量が多くなるとススが発生し、収穫物の品質が低下する恐れがあるので、初期発生時に防除を行う。
- 2) 黄色粘着板などをハウス内に設置し、コナジラミ類の密度に注意する。
- 3) 薬剤抵抗性の発達を避けるため、同一系統薬剤の連用は行わない。
- 4) 薬剤防除については、使用基準を守り、危被害防止に努める。なお、農薬登録の有無等不明な点については、最寄りの農業改良普及センター、または病害虫防除所に問い合わせを行う。

&lt;連絡先&gt;

宮崎県病害虫防除所

TEL 0985-73-6670 FAX 0985-73-7499

e-mail miyabou@blue.ocn.ne.jp

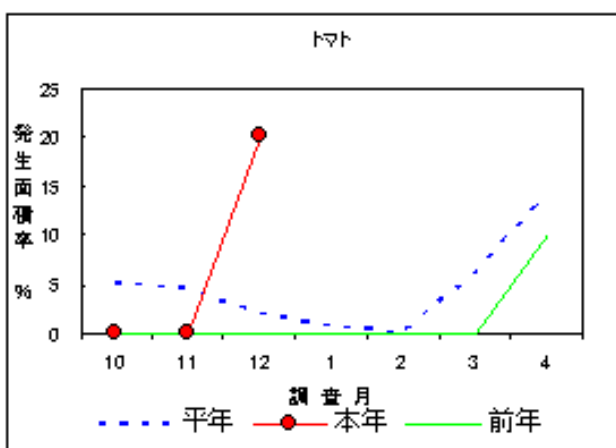


図1 コナジラミ発生面積率（トマト）

注：発生面積については葉当り0.5頭以下の発生はカウントしていない。

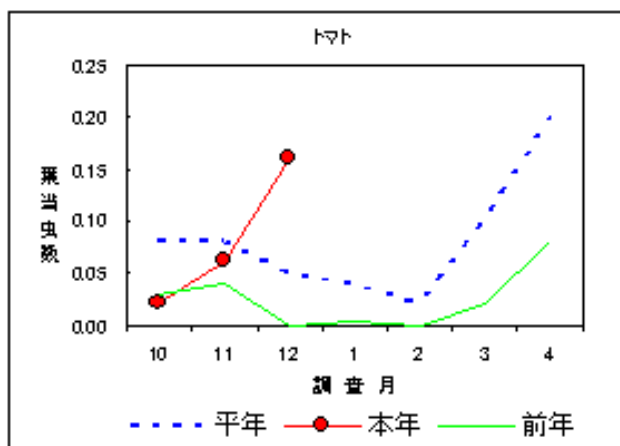


図2 コナジラミ葉当成虫数（トマト）

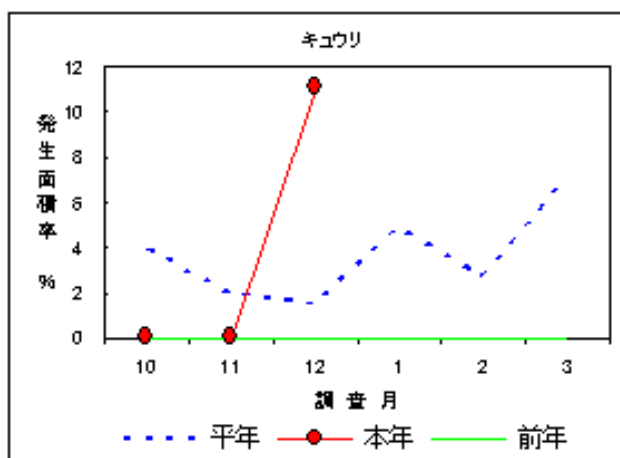


図3 コナジラミ発生面積率（キュウリ）

注：発生面積については葉当り0.5頭以下の発生はカウントしていない。

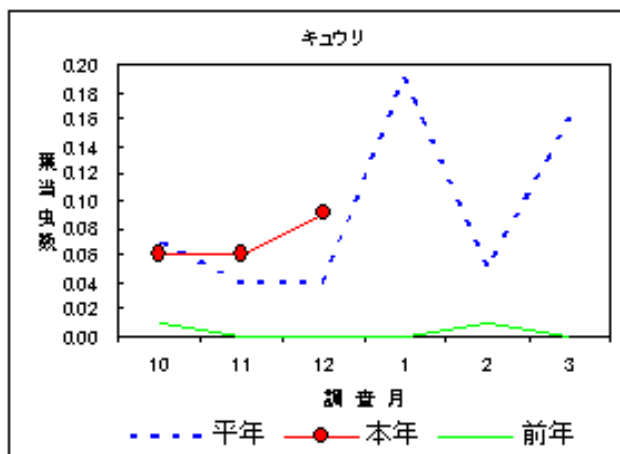


図4 コナジラミ葉当成虫数（キュウリ）